



土屋 武雄 議員

質問 高齢者が楽しく幸福感を持って生きる仕組みづくりは

町長 地域包括ケアシステムの構築と
小さな拠点づくり推進が不可欠だ

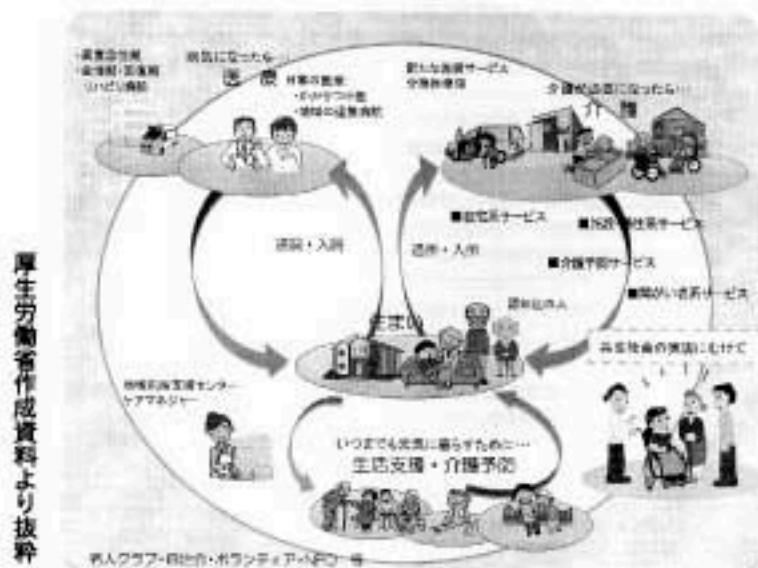
質問 過疎化が進むことにより、ひとり暮らし世帯の増加が見込まれる。楽しく幸福感を持って生きる仕組みづくりの状況は。

町長 医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が確保される体制として、地域包括ケアシステムの構築を目指している。

また、地域住民が主体的に自分や家族が暮らしたい地域を考え、地域で困っている課題を解決したいという意識を持ち、関係者が協力し、さまざまな活動を行う小さな拠点づくりとの一体的な推進が不可欠である。

質問 誰もが健康で長生きしたいと願っているが、身体的な

《地域包括ケアシステムのイメージ図》



運動機能や口腔機能の保持等多様な健康づくりについての考えは。

町長 奥出雲町元気プラン21の基本目標は食生活、運動、心の健康、たばこ、飲酒、

歯と口の健康、検診、寝たきり予防、生きがいづくりの健康テーマを9カ条の推進目標に定めている。

健康教室、介護予防講座等の研修会の開催や軽スポーツ活動、検診受診や禁煙、

分煙、節度のある飲酒などの啓発活動や、歯と口の健康相談を実施していく。

質問 後期高齢者の増加とともに、認知症の人口は今後も増加が見込まれる。

認知症の予防や地域で認知症の人をささえる高齢者が尊厳を持って暮らせる地域づくりをいかに拡充するのか。

町長 次の4点について拡充する。①高齢者自身が地域活動の場が広がるよう取り組む。②地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1名配置し、支援機関をつなぐコーディネーターとして相談対応し、認知症機能強化検診や初期集中支援事業を行う。③認知症サポーター養

成講座の開催や、認知症カフェの運営支援や徘徊者事前登録をする。④認知症の方の権利擁護のため、成年後見人制度を社会福祉協議会で業務推進する。

公共用事業用地の買収に当たり、不動産登記の嘱託状況について

質問 未登記の事案の有無、その処理方針は。

町長 地図混乱地域は優先的に地籍調査をし、順次登記を進めている。

相続登記問題は関係者に御協力をいただながら、相続完了した土地から順次所有権移転登記をしてもらい、買収登記を進める。